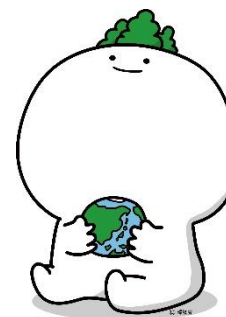




---

## 第2回WG振り返り・ 第3回WGにおける論点（報告）

---



# 今年度のスケジュール



- 今回のWGでは、試行状況の報告に加えて、これまでのWGでの議論を踏まえた論点を用意している。
- なお、12月に予定していた第2回検討会は試行状況とWGでの検討状況報告がメインであるため、書面での状況共有を行う方針とした。

| マイルストーン                                                                                         | 検討会・WGの議題（案）                                                                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6/24 <b>第1回WG</b><br>(月) 支援証明書（試行版）の検討                                                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度の検討事項及びスケジュール共有</li> <li>支援証明書の内容検討</li> </ul>                                         |
| 8/5 <b>第2回WG</b><br>(月) 支援証明書（試行版）の仮確定                                                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>支援証明書の内容の仮確定</li> <li>支援証明書発行後の運用に関する検討</li> </ul>                                          |
| 9/2 <b>第1回検討会</b><br>(月) 試行運用の実施方針・事項の説明                                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度の検討事項及びスケジュール共有</li> <li>支援証明書の試行運用に関する意見聴取</li> </ul>                                 |
| 9月 支援証明書試行運用の開始（支援証明書（試行版）の発行申請受付開始） / 参加希望者向けオンライン説明会<br>マッチングページの公開（被支援者の応募開始） / マッチングイベントの周知 |                                                                                                                                    |
| 12/6 <b>第3回WG</b><br>(金)                                                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>支援証明書試行状況の報告</li> <li>令和7年度以降の本格運用に向けた検討</li> </ul>                                         |
| 12月 <b>第2回検討会(書面開催)</b><br>途中結果報告                                                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>支援証明書試行状況の報告</li> <li>第3回WGまでの検討状況の報告</li> </ul>                                            |
| 1/17<br>(金)                                                                                     | 支援証明書（試行版）発行申請締切                                                                                                                   |
| 2月 <b>第4回WG</b><br>発行可否の判断に関する意見聴取<br>本運用に向けた検討                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>支援証明書（試行版）発行の判断に関する意見聴取</li> <li>支援証明書試行の実施結果及び課題の整理</li> <li>令和7年度以降の本格運用に向けた検討</li> </ul> |
| 3月 <b>第3回検討会</b><br>本運用に向けた検討                                                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>支援証明書試行の実施結果及び課題の報告</li> <li>令和7年度以降の本格運用に係る実施方針の報告、意見聴取</li> </ul>                         |
| 支援証明書（試行版）の発行                                                                                   |                                                                                                                                    |

- 8月に開催した第2回WGでは、論点を3つ設定し議論いただいた。
- 議論の結果、基金等を経由した間接的な寄付も支援証明書の発行対象とすること、支援証明書に係るステークホルダーのリテラシーの向上が重要であること、支援証明書の有効期間は設定しないこと等が方針として決定した。

### 第2回WGの論点といただいたご意見

## 1 「企業版ふるさと納税」や「基金」などを経由した支援を発行対象とすることについて

- ✓ 地方公共団体等、お金のマネジメントのノウハウがある団体が間に入ることによって、支援が効率的に行われるというケースもあると考える。スキームとしてきちんと制度設計をした上で、地方公共団体や基金が窓口になる仕組みは良いと思われる。
- ✓ 間接的な支援を行う場合の仲介となる機関は、支援証明書申請や寄付者への報告の負担に耐えうる能力や、ある程度の信頼性が必要である。
- ✓ 企業版ふるさと納税制度の活用について、情報開示ではなく社会貢献的に使うためであれば、税額控除を最大限に利用したうえで支援証明書を申請することも問題ないとする。

## 2 支援証明書を投資家に向けた情報開示に活用する際のポイントについて

- ✓ 支援証明書制度が適切に活用されるよう、支援者と支援証明書の読み手、及び支援者と被支援者の各両者のリテラシーの向上が必要である。
- ✓ TNFDの活用に向けては、支援の際に、支援者のバリューチェーンやプライオリティロケーションを考慮することが重要である。各企業の担当者がその旨を社内に説明しやすいような資料にできるとよい。
- ✓ 自社事業のバリューチェーンが環境面でどの地域に依存しているかということを、会社としては知っておくべきである。

## 3 支援証明書の有効期間及び更新・失効の考え方について

- ✓ 支援証明書の有効期間を設定しない場合、発行日を明示する必要がある。
- ✓ 過去の支援の証明については、支援先のサイトが自然共生サイト認定された後の支援、及び自然共生サイトの認定の準備行為に向けて行われた支援を遡及可能な範囲とするべきである。
- ✓ 有効期限を設定しない場合でも、取消規定は必要である。

---

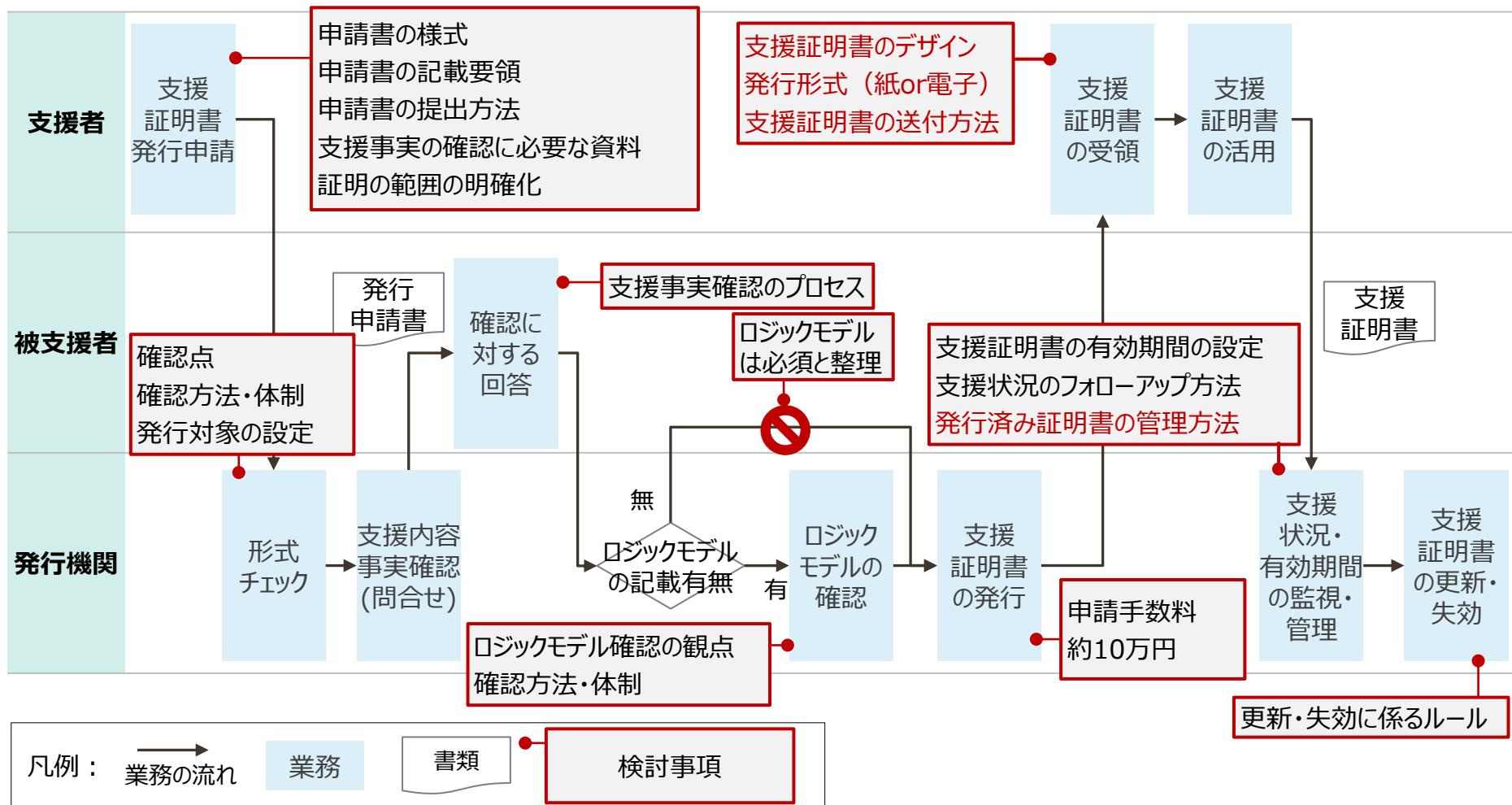
## 1. 報告事項

---

# 1.1. 支援証明書の発行フローに沿った検討事項の整理

- 本WGにおける検討事項について、支援証明書の発行フローに沿って以下のとおり整理。（前回WGから変更なし）
- 各検討事項につき、過去のWGで議論いただき、残りの検討事項は赤字の記載のみとなっていた状況。

## 支援証明書発行手続きに係る業務フロー及び検討事項



## 1.2. 支援証明書のデザインに係るマイナーアップデート

- 支援証明書は、これまで提示してきたイメージにマイナーアップデートを加えたものを使用する。
- 証明書番号は、発行年×連番 で一意の値となるように管理（※）し、PDF形式で発行したものを、申請者に対してメールで送付することを想定。  
※採番ルールは本格運用時に省内の決裁を経て最終確定

支援証明書の採番は

XXXX - XXXX  
(発行年) (連番)

一意の番号で管理する。  
過去に、同じ申請者が同じ自然共生サイトに支援したことがある場合、支援証明書の採番は変わらない。

ロジックモデルがアウトカムを保証するものではない旨を追記



### 自然共生サイトに係る支援証明書

〇〇〇〇株式会社 様

#### 支援サイト情報

サイト名称： 〇〇湾  
管理責任者情報： 〇〇県〇〇市  
☒ 維持タイプ ☐ 回復タイプ ☐ 創出タイプ

#### 支援内容に係る情報

支援数： 〇つ ※複数支援の場合、2枚目以降に記載

#### 活動内容

アマモをはじめとした海草類の繁茂状態を確認するため、水中ドローンを使って調査する。

インプット 自社の環境保全に係る予算50万円  
アクティビティ 水中ドローンを10台購入  
支援実施日（期間） 2024年7月



※記載のとおりアウトカムが実現することを保証するものではない



### 自然共生サイトに係る支援証明書 (別紙)

〇〇〇〇株式会社 様

#### 特記事項

##### 活動内容に係る補足

- 里海クラブ活動では、地元小学生を対象に1年間を通し、年間10回程度の環境学習プログラムを実施しており、社員もスタッフとして参加している。

##### 活動成果に係る補足

- アマモ場の面積が、支援当初より約1.5倍の〇〇haまで広がった
- アマモ場の面積が広がったことにより、当該サイトにおける二酸化炭素の吸収量が支援当初の約2倍の〇〇トンまで増加した

##### 生物多様性地域戦略への貢献

- 当該サイトが位置する〇〇市の生物多様性地域戦略では、海岸域の保全活動が具体的な行動目標に掲げられており、地域戦略に沿った取組となっている。

別紙に記載の内容は申請者による任意の記載であり、環境省による詳細の審査は行われていない

特記事項は本紙と分けて  
記載し「別記」と明記

別紙は証明範囲外である旨を記載

# 1.3. 発行済み支援証明書の管理方法

- 発行した支援証明書は、支援状況を広く一般に周知し、支援後の適切なモニタリングを促す等の目的で、環境省HP等にて公開することとする。
- 30by30ポータルサイト内の支援証明書ページ中での公開を想定。  
また、将来的には、現在開発中の「生物多様性見える化システム」へ、支援証明書関連機能も統合予定。

## サイトイメージ（想定）

30by30とは    自然共生サイト    30by30アライアンス    参加団体    ロゴマーク

認定サイト    支援制度    マッチング    支援証明書

トップページ > 自然共生サイト > 支援制度 > 支援証明書

▼ 自然共生サイトに係る支援証明書について    ▼ 支援証明書（試行版）の発行について    ▼ 支援証明書（試行版）取得のメリット

▼ TNFD等に活用する場合のポイント    ▼ FAQ（よくある質問）

| 支援証明書番号   | 支援者                                                 | 支援先                                        | 支援者コメント | モニタリング状況 | 支援証明書                                 |
|-----------|-----------------------------------------------------|--------------------------------------------|---------|----------|---------------------------------------|
| 2024-0001 | 〇〇株式会社<br>( <a href="https:xxxxx">https:xxxxx</a> ) | 〇〇市<br>( <a href="https:xx">https:xx</a> ) | xxxxxx  | xxxxxx   | <a href="https:xxxxx">https:xxxxx</a> |
| 2024-0002 | 〇〇株式会社                                              | 〇〇会                                        | xxxxxx  | xxxxxx   | <a href="https:xxxxx">https:xxxxx</a> |

## 生物多様性見える化システムの活用

自然共生サイトに関連する様々な情報を取り扱うアプリケーションを開発中（令和7年度中リリース予定）。その中で支援証明書情報も扱う予定。

生物多様性見える化システム（仮） with ArcGIS Web AppBuilder

**イメージ**

△△ガーデン  
【サイト所有者】 ABCDE株式会社  
【場所・面積】 〇〇県〇〇市、面積：8.6 ha

確認生物種  
植物    魚類    両生類    爬虫類    哺乳類    昆虫類    その他

活動日数 20日/年    延べ活動人数 150人/年

水源涵養量 〇〇t/年    炭素固定量 〇〇t/年

支援元 (株)〇〇〇

認定された生物多様性の価値  
1 2 3 4 5 6 7 8 9  
〇    〇    〇

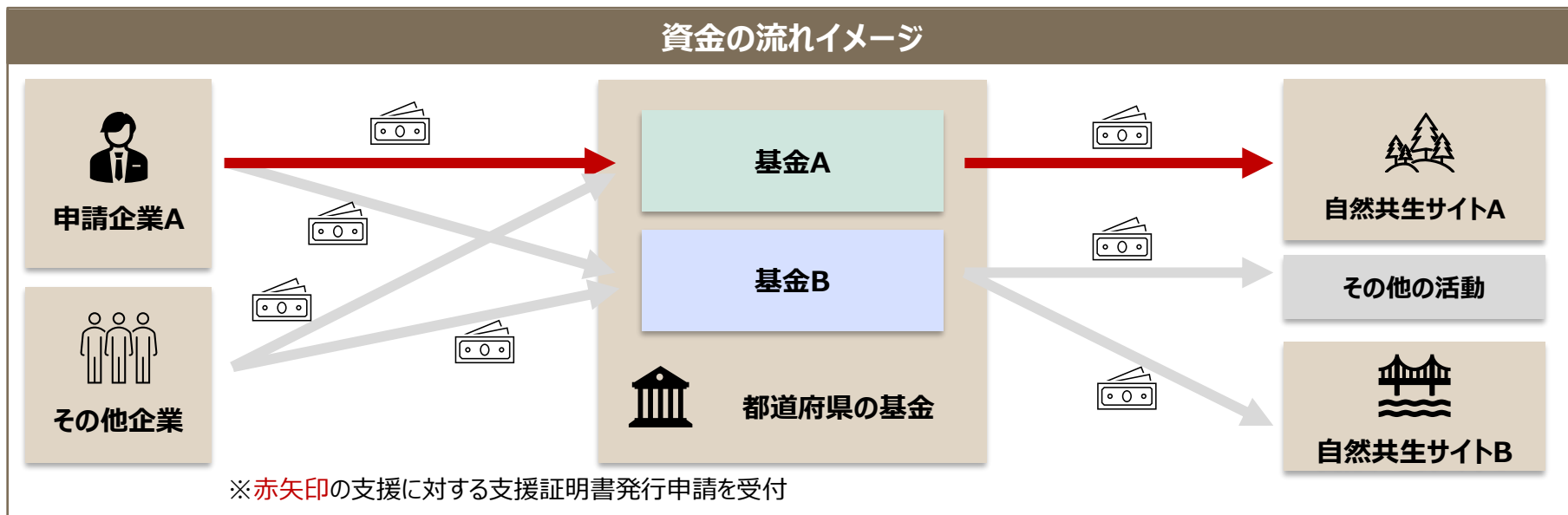
## 1.4. 支援証明書（試行版）申請状況（問合せ状況件数）

- 支援証明書（試行版）の申請受付を9月に開始して以来、現時点で合計 **8社**からの問合せを受けており、**3件**の正式な申請を受付けている。
- 現時点で制度設計を見直すべき不具合は想定されず、正式申請・発行を進めていく予定。

| 質問者 |           | 問合せ内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-----|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 鉄道会社      | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 自社が「複数の活動責任者」の1者として活動しているサイトへの支援は発行対象となるか</li><li>・ 申請費用に係る確認</li><li>・ 基金を通じた支援が発行対象となるか</li></ul>                                                                                                                                                                                   |
| 2   | 銀行        | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 企業からの自然共生サイトへの支援（金銭的な支援）を目的とした金融商品のスキーム検討に係るご相談。</li></ul>                                                                                                                                                                                                                            |
| 3   | 損害保険      | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 自社で行っている活動が支援証明書の発行対象となるか</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 4   | 通信事業者     | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 自社で申請をしているが、管理をしていない自然共生サイトへの支援は発行対象となるか</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                    |
| 5   | 環境コンサル    | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 支援対象となるのは全く費用を請求しないボランティアのような活動を想定しているか。実費+αを請求して良いか。</li></ul>                                                                                                                                                                                                                       |
| 6   | 廃棄物収集運搬業者 | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 申請書の記載内容に係る提出前の事前相談。</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 7   | 建設コンサル    | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 自然共生サイト認定申請の支援を支援内容として申請することは可能か。</li><li>・ 自然共生サイトの申請者である協議会に参画している場合、当該自然共生サイトに対する活動は支援証明書の発行対象となるか。</li></ul>                                                                                                                                                                      |
| 8   | 漁業組合      | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 過年度の支援は支援証明書の発行対象となりえるか。</li><li>・ アウトカムの評価が2030年にならないとできないが問題ないか。</li><li>・ 支援を受けているのは当漁協であるが、自然共生サイトの申請は、漁協配下にある部会となるが、当漁協への支援者は支援証明書を受け取れるか。</li><li>・ 複数年での支援計画がある場合、どのように申請を行うべきか。</li><li>・ 支援者に寄付金を拠出している企業は間接的に貢献を訴求可能か。</li><li>・ アウトカムが証明範囲外とのことだが、TNFDへの実用性はあるのか</li></ul> |

## 1.5. 支援証明書の申込状況（1/2）基金を通じた支援事例

- 申請企業Aは、都道府県の基金を通じて継続的に金銭的支援を行っており、実施した支援に対する支援証明書の発行を申請いただけている状況。基金を通じた間接的な支援への証明書発行ニーズが確認できた。



### 基金A

基金Aは、支援金募集時に、その用途を「自然共生サイトA」に限定することを明らかにしており、申請企業Aによる支援金が自然共生サイトの活動に使われたことを確認することができる。

15年間に渡り  
継続的に寄付を実施

令和6年度  
「自然共生サイトA」  
が認定を受ける

【要検討事項】  
過去の支援をどこまで認定対象とみなすか

### 基金B

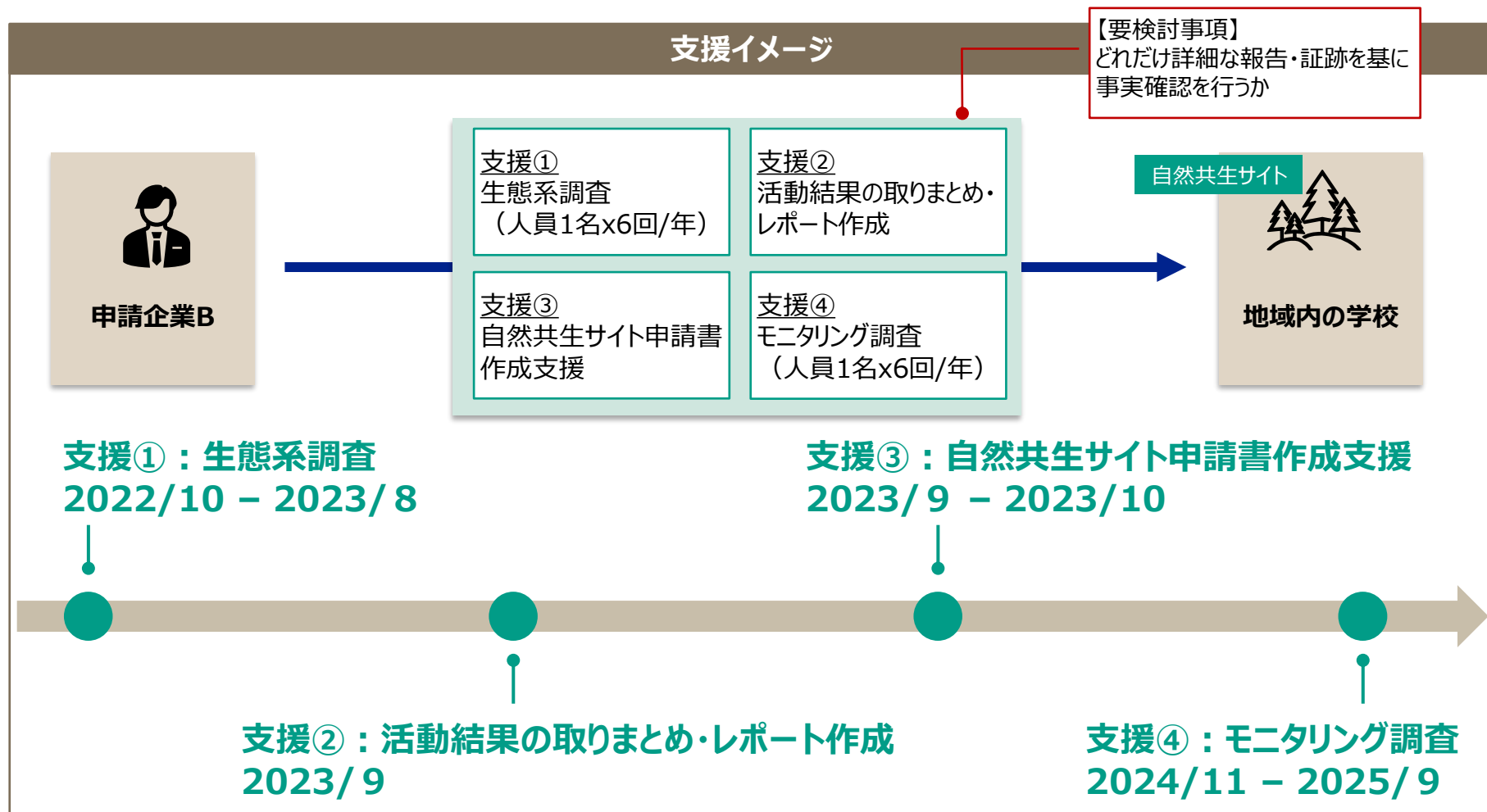
基金Bについては、当該都道府県内の環境保全に係る複数の活動に使用されており、支援した金額のうち自然共生サイトBへ支出された金額だけを切り出すことは難しい。

14年間に渡り  
継続的に寄付を実施

令和5年度  
「自然共生サイトB」  
が認定を受ける

## 1.6. 支援証明書の申込状況（2/2） 電子部品専門商社の事例

- 申請企業Bでは、野鳥をベースとした自然保護活動のボランティア経験を活かし、生物多様性保全に係る活動を実施している。
- 同プロジェクトの一環として、地域内の学校へ野鳥調査・自然共生サイトの申請補助等が無償で行った。結果として同サイトは令和5年後期に自然共生サイトに認定された。



## 1.7. マッチングの状況報告

- 9/13（金）にマッチングページを公開して以来、多くの方に活用いただけている状況。
- また、別途開催したマッチングイベントにも多くの方にご参加いただき、マッチングに関する一定のニーズが確認できた。
- 実際の支援マッチング状況については、引き続きアンケート等を通じてフォローアップしていく。

8/2（金）  
昨年度のマッチングに係る  
アンケート実施

昨年度の  
マッチング成立  
**25組**

アンケート回答者  
**14組**

支援実施済  
**6組**

9/13（金）  
マッチングページ公開

### アジェンダ

- ・ マッチングの事例紹介
- ・ 自然共生サイトの取組紹介
- ・ 個別相談会
- ・ フリーディスカッション

自然共生サイト等の参加者  
**29者**

支援希望者としての参加者  
**16者**

10/1（火）  
マッチングイベントに係る  
報道発表

11/5（火）  
マッチングイベントの実施

11月末時点  
マッチング参加状況

支援を募集している自然共生サイト等一覧



亀山里山公園  
【場所】 京都府亀山市  
【申請者】 亀山市  
 詳細はこちら [PDF:660KB]

自然共生サイト等の情報掲載  
**27件**

支援希望者の情報掲載  
**7件**

---

## 2. 第3回WGにおける論点

---

- 支援証明書の運用を試行的に開始するにあたり検討すべき事項は、本日のWGの 資料 1 にて整理・確認を行った。
- 本日のWGでは、前回WGの議論で挙げられた課題に対する引き続きの議論と、支援証明書を広げるための方策について、以下 2 つの論点についてご意見をいただきたい。

### 第3回WGの論点

#### 1 支援証明書を投資家に向けた情報開示に活用する際のポイントについて【資料 2】

支援証明書を活用してTNFD開示を検討する企業等に対し、自社と自然との関わりを説明するにあたり基盤となる考え方への理解を深めてもらうとともに、支援証明書の活用を促す資料としてまとめた。

第 2 回WGに引き続き議論いただく。

#### 2 自治体や地域のステークホルダーに期待される役割について【資料 3】

より多くの企業に支援証明書制度を使っていただくためには、生物多様性保全やその支援活動の取組を広げていく必要がある。そうした取組を広げていくにあたり、自治体や地域のステークホルダーに期待される役割について、具体的な事例をもとにを議論いただく。